

第3次土浦市子ども読書活動推進計画



令和3年3月

土浦市教育委員会

目 次

I 計画の基本的事項

- 1 策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II 土浦市の現状と課題

- 1 第2次計画の具体的取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3 土浦市の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3

III 計画の基本的方向

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 2 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 3 目標値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5

IV 第3次計画における取組

- 1 計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- 2 施策と取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7

V 計画の推進

- 1 計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
- 2 計画の進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4

《資料編》

1 アンケート調査結果	2 5
2 子どもの読書活動の推進に関する法律	5 8
3 土浦市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	6 0
4 策定経過	6 2

I 計画の基本的事項

1 策定の趣旨

近年、情報通信技術の発展により、情報通信手段は多様化し、携帯型ゲーム機やパソコン、スマートフォン等の普及とともに、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況は、少なからず子どもたちの読書機会の減少に影響を与えているとみられ、活字離れ、読書離れが懸念される状況は続いているものと思われます。

子どもにとって読書は、言葉や知識の習得はもちろんのこと、創造力を豊かにし、読解力や表現力、思考力を養うなど、健やかな心の成長のために大変重要であることから、子どもが主体的に読書を楽しめる環境の整備や見直しが必要となります。

そういった子どもたちを取り巻く社会情勢の変化を見据え、また、これまでの土浦市における子どもの読書活動推進のための取り組みを振り返り、さらに子どもたちの読書活動の推進に努めていくため、第3次土浦市子ども読書活動推進計画を策定します。

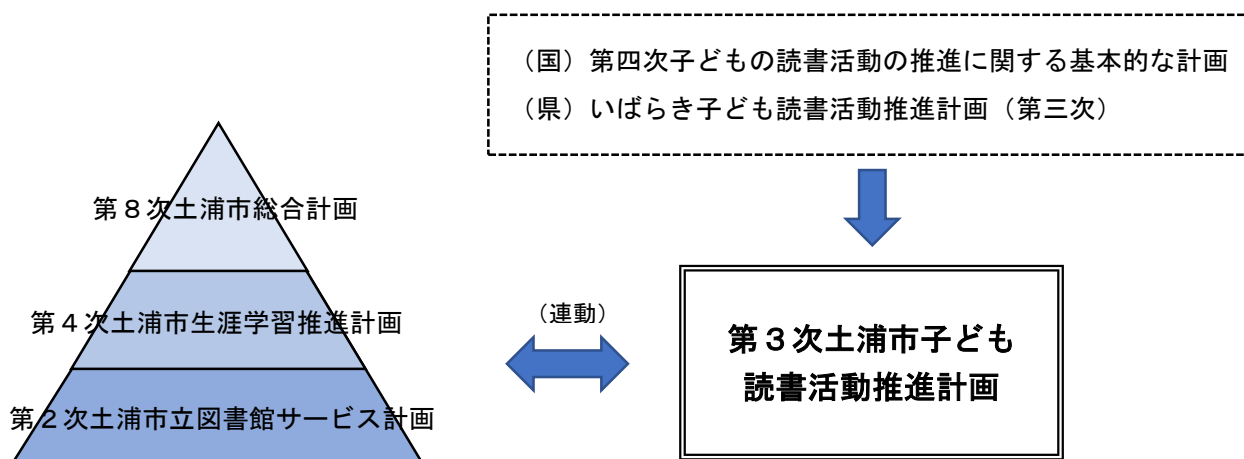
2 計画の位置づけ

「土浦市子ども読書活動推進計画」は、「子どもの読書活動」のための施策を総合的かつ計画的に推進することにより、子どもの健やかな成長に資することを目的に策定しています。

国においては、平成13年施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。その後、改定を経て、平成30年に第4次計画が策定されています。

茨城県においては、平成16年の「いばらき子ども読書活動推進計画」策定以降、改定を経て、令和2年度に第4次計画の策定が予定されています。

本市の「土浦市子ども読書活動推進計画」は、平成23年の第1次計画策定以降、計画に基づく様々な取組を実施しています。今年度、第2次計画が終了するにあたり、上位計画である「第8次土浦市総合計画」「第4次土浦市生涯学習推進計画」との整合性を図り、「第2次土浦市立図書館サービス計画」と連動しながら、策定を行うものです。



3 計画の対象者

計画の対象者は、子ども（土浦市に在住・在学するおおむね18歳以下）と子どもの読書活動にかかわるすべての人々とします。

4 計画の期間

計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

年度	平成								令和						
	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7
第1次計画															
第2次計画															
第3次計画															

Ⅱ 土浦市の現状と課題

第2次計画においては、「子どもたちの豊かな心と生きる力を育む」を基本理念とし、「子どもたちが本に興味を持ち、楽しむことができる機会をつくります」「子どもたちが読書に親しむ環境を整えます」「子どもの読書活動に関する社会全体の理解と関心を高めます」の3つの基本方針を定め、子どもの読書活動を推進しました。

1 第2次計画の具体的取組内容

施策	第2次計画の取組内容	第3次計画への方向性
読書活動に役立つ情報発信	《発達段階に応じた本の紹介の充実》 ・図書館において、季節に合わせた絵本の展示や学校司書おすすめ本の紹介を掲示 ・小・中学生に向け、読書ガイドブック「たからもの」※1を作成・配布 ・赤ちゃん向け「0歳からのえほん」を発行し、ブックスタート※2時等に配布	・子どもの年齢に応じた本の紹介や展示を継続して実施 ・読書ガイドブック「たからもの」は、配布後の活用促進を検討して実施 ・未就学児や高校生、障害児など、様々な発達段階に合わせた本の紹介が必要
	《図書館だより（子ども版）の発行》 ・年1～2回程度の発行（夏休み前と図書館フェス前）	・子ども（小学生）に向けた情報発信手段として、継続して実施
	《ホームページの充実》 ・新図書館開館時にリニューアル ・子ども用ページを開設し、おはなし会等、子ども向けイベントの案内を掲載	・ホームページを活用した情報発信を継続して実施
本に親しむ機会の提供	《図書の貸出》 ・幼稚園、保育所、公民館等において、貸出図書の充実を図り、家庭でも絵本を楽しめるよう保護者への案内を実施 ・図書館において、児童図書を計画的に購入し、貸出を実施	・幼稚園等施設において貸出期間の見直し等を検討して実施 ・貸出未実施の施設における、館内での図書利用を推進
	《体験学習の充実》 ・図書館や司書の仕事に興味のある中学生の職場体験学習の受入	・継続して実施
	《子ども向け講座の充実》 ・図書館において、「夏休み子ども講座」を開催	・子どもたちが興味を持つテーマの把握に努め、継続して実施
	《読み聞かせ・おはなし会の拡充》 ・幼稚園、保育所等において、読み聞かせやボランティアによるおはなし会を通し、絵本に親しむ機会を提供 ・図書館において、おはなし会の開催数を拡大	・読み聞かせテーマの工夫に努め、継続して実施

※1 「たからもの」…本選びの手助けとして、1年生、4年生、7年生の進級時に学校を通じて配布される、土浦市立図書館が発行する読書ガイドブック

※2 ブックスタート…土浦市保健センターで実施される10か月児育児相談にあわせて、絵本の読み聞かせとともに、絵本やメッセージ集を配布し、赤ちゃん和絵本を介して楽しい時間を分かち合うことの大切さを伝える事業

施策	第2次計画の取組内容	第3次計画への方向性
本に親しむ機会の提供	《学校支援事業の充実》 ・図書館において、ブックトーク※3，団体貸出（配送），相談受付，資料情報提供リストの提供を実施	・司書教諭や学校司書との連携強化 ・各種取組内容について，学校の実状に合わせた見直しを図り，継続して実施
	《団体登録の促進・活動の支援》 ・読み聞かせに関わる団体の団体登録を推進 ・読み聞かせ団体への資料及び情報の提供 ・大型絵本の充実に努め，利用促進を図る	・大型絵本の利用促進に向けた資料の充実と，広報の実施
	《新図書館における中・高生ボランティアの育成・活用》 ・高校生への読み聞かせ講座を開催し，高校生ボランティアによるおはなし会「高校生といっしょ」を開催（R1.12月） ・職場体験参加の中学生に図書館ボランティアに関する意識調査を実施（R1.8月）	・ボランティアの活動内容を検討
読書習慣の推進	《家庭における読書の推進》 ・子育て関連冊子に図書館の案内を掲載 「子育て支援ガイドブック」（母子健康手帳交付時配布） 「赤ちゃんおめでとう訪問ハンドブック」（赤ちゃんおめでとう訪問時配布） ・保健センターの10か月児育児相談に併せて，ブックスタート事業を実施 ・読書ガイドブック「たからもの」に，家庭における「親子読書のすすめ」を保護者向けのメッセージとして掲載	・妊娠届や乳児訪問の機会を活用し，図書館利用案内の配布を継続して実施 ・ブックスタート事業を継続して実施 ・親子で読書を楽しむ「親子読書」の紹介・推進方法を検討
	《読書指導の充実》 ・小学校において，図書委員会活動のサポートを中心に，司書教諭と学校司書が連携し，各種取組における読書指導を実施 ・中学校において，集団読書，入学時期の図書室利用ガイダンス，図書だよりの発行を通じ，読書指導を実施	・司書教諭と学校司書が連携し，継続して実施
	《学校における読書記録の推進》 ・小学校において，朝の読書活動，家庭学習としての読書の呼びかけ，読書カードの保護者による確認などにより，読書記録を推進し，記録を元にした表彰を実施 ・中学校において，読書カードの記録をすすめ，記録を元に表彰を実施	・読書カードの記録を継続して実施
	《学校における読書時間確保の推進》 ・朝の読書時間を設け，読書習慣づくりを推進	・朝の読書時間を継続して実施

※3 ブックトーク …あらすじや著者紹介等を交えるなど，本への興味がわくような工夫により，特定のテーマに沿った数冊の本を順番に紹介する手法で，本のコマーシャルとも言われる

施策	第2次計画の取組内容	第3次計画への方向性
読書習慣の推進	《読書感想文コンクール等への参加推進》 ・学校において、県・市の読書感想文コンクールへの積極的な参加の推進 ・図書館において、土浦市読書感想文コンクールを開催	・各種読書感想文コンクールへの参加を継続して推進
	《新図書館における読書通帳機の導入》 ・本の通帳サービス※4を開始（H30.11月～、小・中学生対象） ・対象者を0～18才の子どもに拡大（R1.12月～）	・「本の通帳」利用登録に向けて、積極的な広報を実施
施設の整備	《公民館・学校図書館等の環境整備》 ・書架の配置や展示方法を工夫し、子どもたちが本や絵本を手に取りやすいように配架	・展示方法や配架の工夫を継続して実施
	《図書館の整備》 ・土浦駅前に新図書館を開館	・図書館利用が困難な地区の子どもたちへの読書環境整備を検討
	《新図書館における読み聞かせ・おはなし会の環境整備》 ・新図書館において、「おはなしのへや」や親子読み聞かせスペースを整備	・定期的なおはなし会を継続して実施
	《新図書館における青少年の活動を支援する環境整備》 ・新図書館において、ロフト（コミュニティスペース）内に、青少年コーナーを設置し、高校生作成のおすすめ図書の紹介とともに、図書の展示を実施	・青少年の活動を支援する場として、ロフトの活用を継続
施設における図書の充実	《児童図書の充実》 ・子どもたちが利用する幼稚園・保育所（園）等において、児童図書を購入 ・新図書館の開館に合わせ、多数の児童図書を購入し、その後も継続して計画的に購入	・継続して計画的な図書購入を実施 ・児童図書の充実に向けた予算確保が必要 ・子どもの年齢・ニーズに合った図書の選定が必要
	《学級文庫・学校図書館等の充実》 ・幅広い図書との出会いを推進するため、図書館の団体貸出を活用	・団体貸出の活用を継続して実施 ・授業に対応可能な資料数の確保が必要
	《新図書館におけるあらゆる子どもへの図書の充実》 ・外国語絵本や外国語図書、ユニバーサル絵本※5等を購入	・継続して計画的な図書購入を実施
	《新図書館における青少年コーナーの設置》 ・新図書館において、中・高生向けの図書コーナー「Teenの本棚」※6を設置 ・高校生が紹介するおすすめ図書の購入	・高校生のおすすめ図書展示を継続して実施 ・中・高生への周知方法を検討

※4 本の通帳サービス …土浦市在住・在学の0～18歳の子どもを対象として、銀行の通帳と同様の「本の通帳」に図書館で借りた本を記録することができるサービス

※5 ユニバーサル絵本 …障害の有無に関わらず楽しめる絵本。絵と文字が印刷された通常の絵本に、点字や絵の輪郭が分かる凹凸を添えたものや、手触りを楽しむ絵本などがある

※6 「Teenの本棚」…土浦市立図書館（アルカス土浦）の4階、「ロフト（コミュニティスペース）」に設置された中・高生向けの図書コーナー

施策	第2次計画の取組内容	第3次計画への方向性
学校・地域・行政等の連携	《学校と家庭・地域の連携による読書活動の推進》 ・保護者やボランティアによる読み聞かせを実施 ・家庭学習での読書カードへの記録を推進 ・図書だよりでの図書紹介を実施 ・中学生による小学生への読み聞かせを実施	・地域や保護者を通じた読書活動の推進を継続して実施
	《図書館の相互連携》 ・図書館に所蔵のない図書は、他の図書館から借り入れ、利用者へ提供	・継続して実施
	《図書館と民間団体等との連携》 ・東部ガスと連携し、絵本に登場するパンを作る講座を開催（H29.1月） ・新図書館において、ボランティア6団体の協力のもと、おはなし会を開催 ・スキルアップを目的として、読み聞かせ団体に向けた読書関連講演会を開催	・企業・民間団体・ボランティア団体との連携事業推進を継続して実施 ・おはなし会を継続して実施 ・読み聞かせ団体への情報提供が必要
	《図書館と市内小・中学校との連携》 ・学校司書が図書館に相談できる体制を整備・継続 ・担当課と連携し、学校司書の研修事業を実施 ・図書館開催の講演会について、学校の協力により、広く保護者へ周知	・担当課や学校司書との連携を強化し、継続して実施
	《図書館と市内高校との連携》 ・市内高校（二高・湖北高・日大中等・常総学院）と連携し、おすすめ図書の紹介・読書感想画・校内ビブリオバトル※7活動状況等、高校生の活動をロフト（コミュニティスペース）内で紹介 ・おはなし会「高校生といっしょ」の開催（R1.12月）	・協力高校との連携強化を図り、継続して実施
研修会・講座等（大人対象）の実施	《ボランティアの育成と活動の推進》 ・図書館において、長期休暇時のおはなし会における学生ボランティアへの読み聞かせ指導を実施 ・図書館において、ブックスタート事業に協力していただくボランティアを定期的に養成し、事業を実施	・子どもの読書活動に繋がるボランティア育成を継続して実施
	《読書関連講座等の実施》 ・図書館において、学校で読み聞かせをする保護者を対象とした子どもの読書に関する講演会を開催 ・図書館において、絵本作家によるトーク・ショー「もみじちゃんと私」を開催（H31.4月）	・継続して実施
	《学校司書の研修の充実》 ・定期的に研修を実施 ・外部講師を招いての研修を実施（図書館協力）	・学校司書間の交流と情報共有が必要 ・継続して実施

※7 ビブリオバトル …バトラー（発表者）が、自分の気に入った本を紹介し合い、最後にもっとも読みたくなった本を観戦者の投票で決める書評合戦

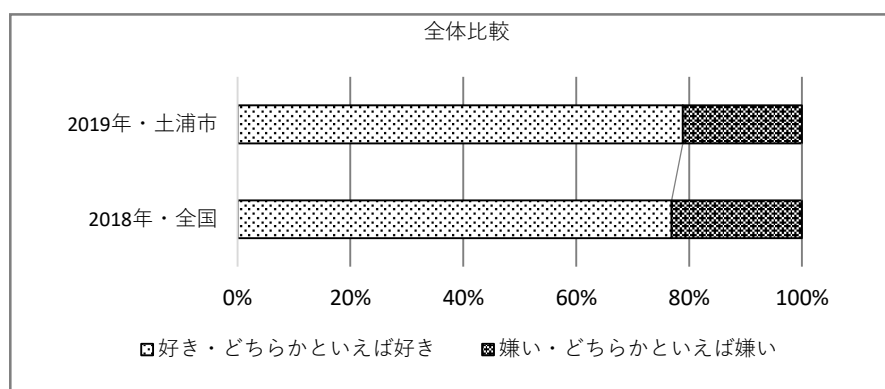
施策	第2次計画の取組内容	第3次計画への方向性
(大人対象)の研修会・講座等の実施	《図書館司書の研修の充実》 ・茨城県図書館協会開催の研修会に参加	・継続して、図書館関連の研修会へ積極的に参加
	《県立図書館との連携（研修会・講座）》 ・読み聞かせ関連の出前講座申込（抽選により未実施）	・申込を継続して実施
広報・啓発	《子育てにおける読書活動の啓発》 ・子育て世代への配布物「土浦市子育てガイドブック」に図書館の情報を掲載し、母子手帳交付時、出生届時、転入時に保護者への配布を実施	・子育て世代への啓発を継続して実施
	《保護者の学習機会を活用した啓発》 ・参加者減少のため、乳幼児家庭教育学級廃止（H28） ・小学校の家庭教育学級において、絵本や読み聞かせについての出前講座を実施	・乳幼児家庭教育学級に代わる親力アップ講座を活用 ・出前講座を継続して実施 ・家庭教育学級長研修会等を活用
	《様々なメディアを活用した情報提供》 ・図書館の各種イベントを広報紙・ホームページ・ポスターで広報するとともに、新聞等掲載に繋がるようメディアへの情報提供を実施	・SNSを活用した情報提供を検討 ・情報発信を継続して実施
	《ホームページの充実（再掲）》 ・おはなし会のお知らせや、子ども向けイベントの案内を掲載	・情報発信を継続して実施
	《「こどもの読書週間」「子ども読書の日」等における広報・啓発》 ・図書館において、こどもの読書週間に子ども向けのイベントや読み聞かせ、テーマに合わせた展示等の取組とともに周知、啓発を実施	・子どもたちが興味を持つ企画の実施とともに、広報・啓発を継続して実施
	《図書館まつり等の実施》 ・新規利用者の確保、図書館利用のきっかけづくりとして、子どもから大人まで楽しめるイベント等を実施	・子どもたちが興味を持つ企画を工夫し、継続して実施

2 アンケート調査

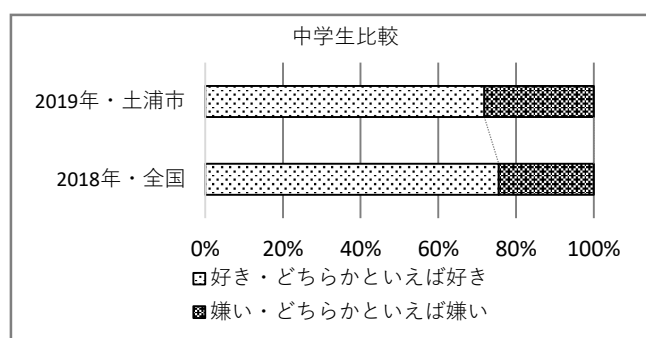
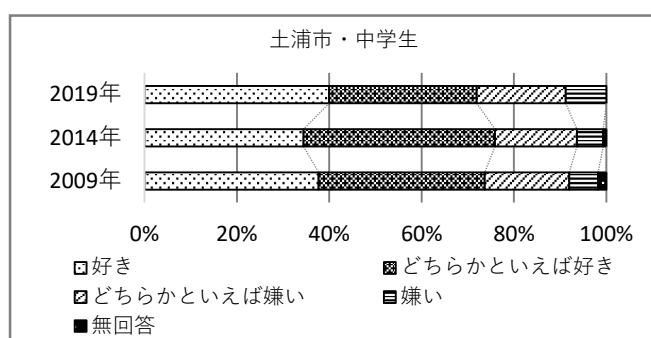
子どもの読書活動の現状と課題を把握するため、子ども（小学生、中学生、高校生）と、子どもが多くの時間を過ごす家庭や保育所・幼稚園・学校など、読書環境の形成に影響があると想定される大人を対象に令和元年11月にアンケート調査を実施しました。

第1次、第2次の計画策定時も同様の事前調査を行っており、比較可能な項目については、データの推移を計画実施後の読書活動状況を判断する目安としています。第3次計画の策定にあたり、着目した主なアンケート項目、結果は以下のとおりです。（全アンケート結果は巻末に収録）

（１）「本を読むことが好きですか？」（子ども対象）

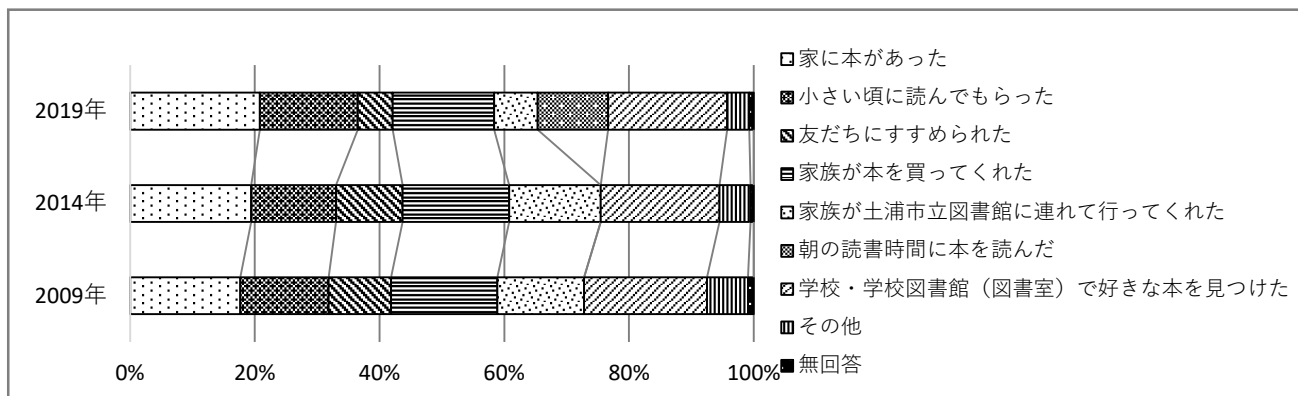


※全国調査は毎日新聞社実施「学校読書調査」（2018年調査）の数値



全体としては、「好き」「どちらかといえば好き」の回答が全国平均をやや上回っているが、**中学生の平均が全国平均を下回り、前回調査からの低下も見られる。**

(2) 「本を好きになったきっかけは何ですか（複数回答）」（子ども対象）



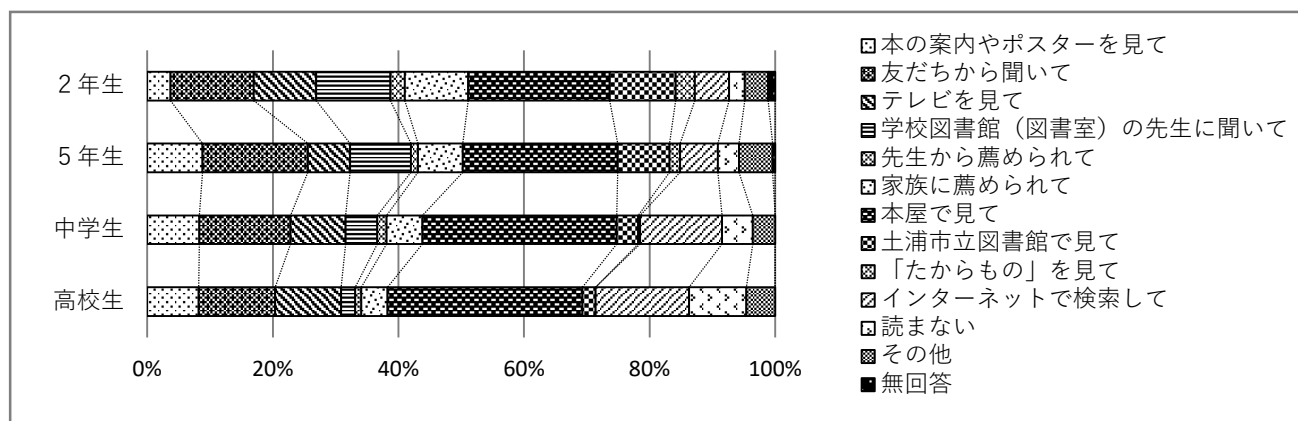
※選択肢「朝の読書時間に本を読んだ」は、2019年調査で新規導入

「家族が（土浦市立）図書館に連れて行ってくれた」の回答が大きく減少傾向にあるが、2019年調査で新規に追加した「朝の読書時間に本を読んだ」を含む「学校・学校図書館で好きな本を見つけた」の回答は増加している。このことから、学校は、子どもたちが本に出会う身近な場所といえる。

「家に本があった」「家族が本を買ってくれた」の回答はこれまで同様、大きな割合を占めている。

本を好きになるきっかけに、**家庭と学校の関わり**は大きいといえる。

(3) 「読みたい本をどのようにして決めますか（複数回答）」（子ども対象）



年齢が上がるにつれ、本を探す場所として、**市立図書館が減少、本屋が増加**の傾向にある。

また、「友だちから聞いて」は年齢によってあまり割合に変化がみられないのに対し、家族、先生、学校図書室の先生の影響は、年齢が上がるに減少していく。

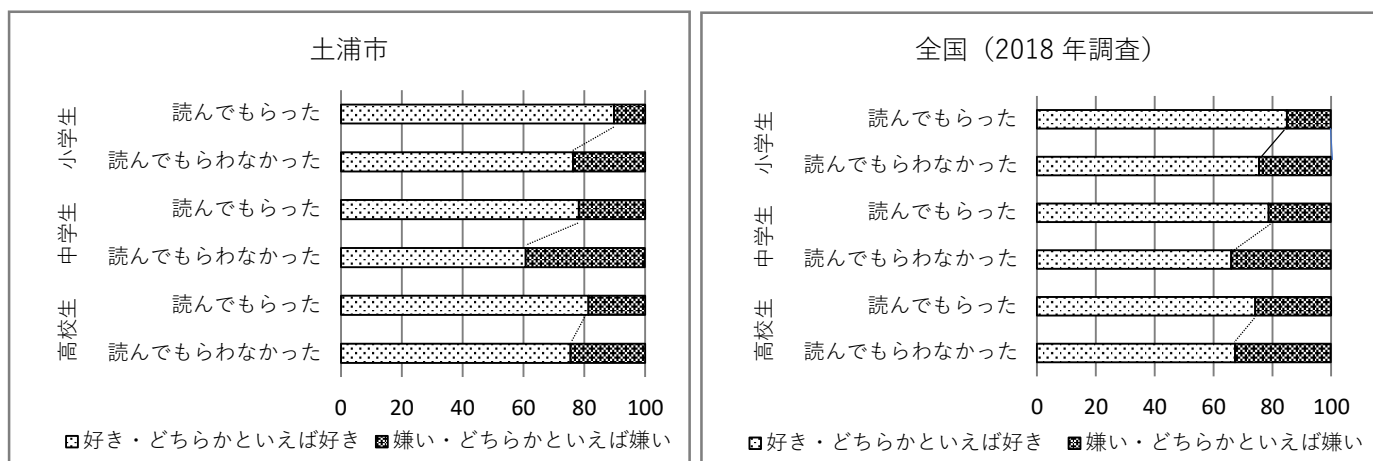
本の案内・ポスターの影響は年齢によって変化は少ない。市立図書館が発行する**「たからもの」の影響は、高学年、中学生ではほとんどみられない。**

インターネット検索の割合は、年齢が上がるにつれ増加する。

（４）「子どもの読書への家族の影響」（子ども対象）

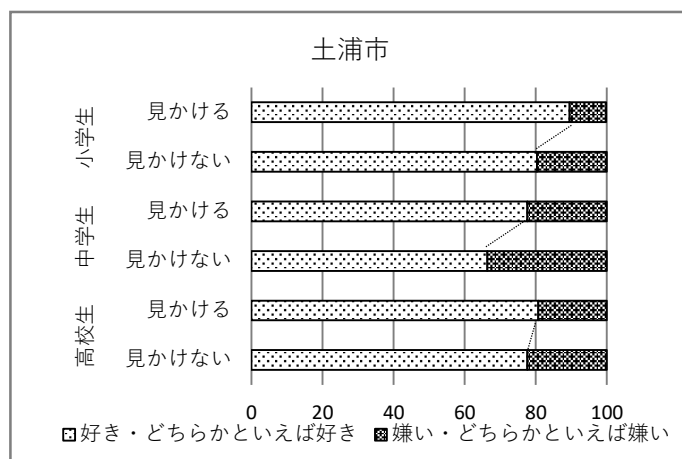
「小学校入学前、家の人に本を読んでもらったことがありましたか？」及び「家の人が本を読んでいるところを見かけますか？」の回答と「本を読むことが好きですか？」の回答を、合わせて比較します。

① 小学校入学前に本を読んでもらった経験による、「本を読むことが好き」かの回答を比較



※全国調査は毎日新聞社実施「学校読書調査」
(2018年調査)の数値

② 家の人を読書する姿を見かけるかによる、「本を読むことが好き」かの回答を比較

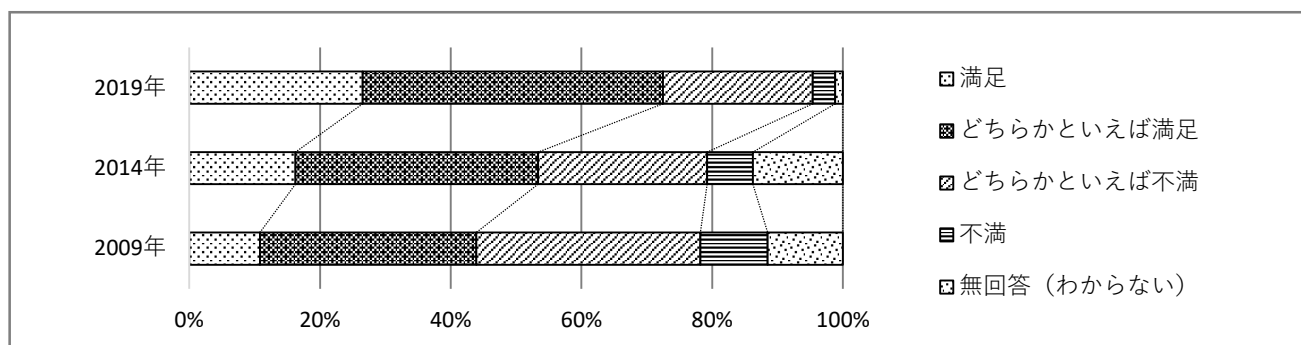


全国調査同様、「小学校入学前に本を読んでもらった経験のある子」は、「経験のない子」と比べて「本が好き」と答えた割合が高くなる。

また、「家の人を読書する姿を見かける子」は、「見かけない子」と比べて「本が好き」と答えた割合が高くなる。（全国調査での比較は未実施）

(5) 「子どもを取り巻く読書環境について」 (大人対象)

子どもを取り巻く公共的な読書環境（学校・図書館・公民館・児童館等）の満足度について、過去の回答と比較します。

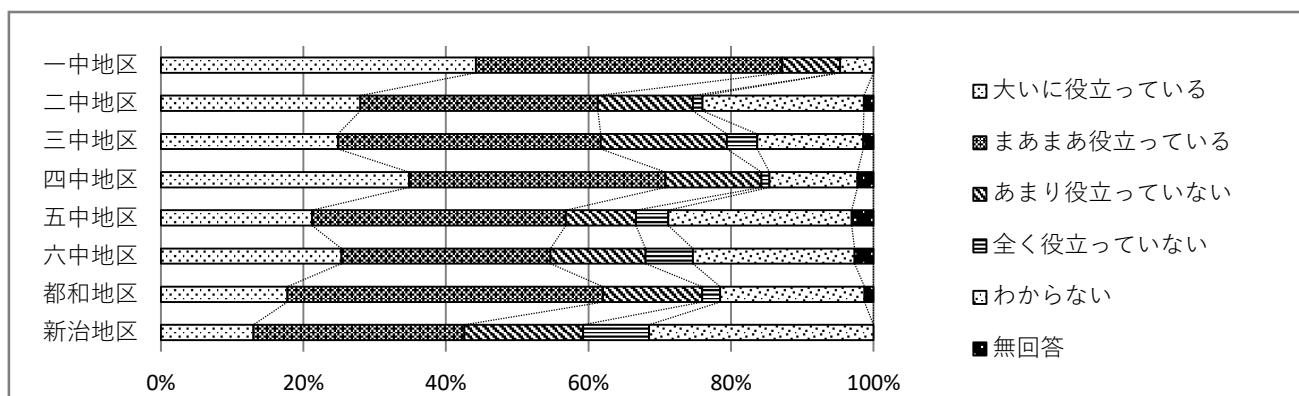


※「わからない・無回答」2019年1.3%，2014年12.9%，2009年12.4%

土浦市立図書館の駅前への移転に伴い、規模、蔵書数が拡充されたことで、**読書環境に対する満足度は増加**した。

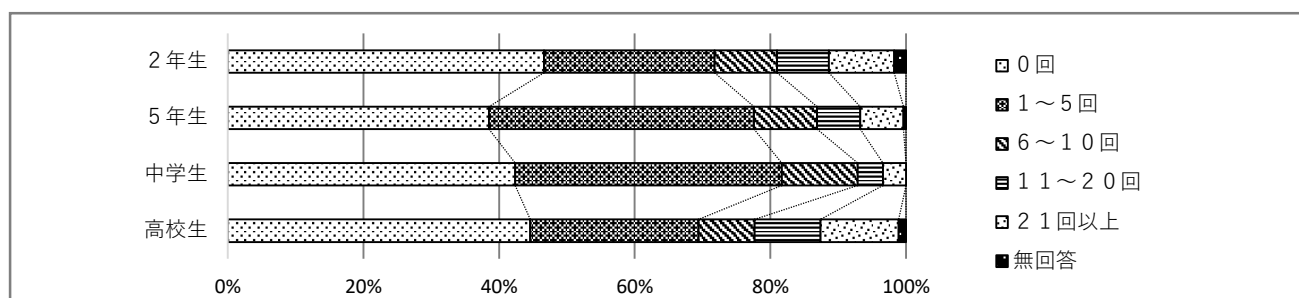
<参考>

◎駅前に移転した図書館は子どもたちの読書活動の面で、どのように感じますか？【地区別・大人】



駅前の図書館に対しての印象は、**地区により異なり**，特に，一中地区と新治地区で大きな差がみられている。「大いに役立っている」，「まあまあ役立っている」の回答では，一中地区，四中地区70%以上であるのに対し，新治地区は40%にとどまっている。

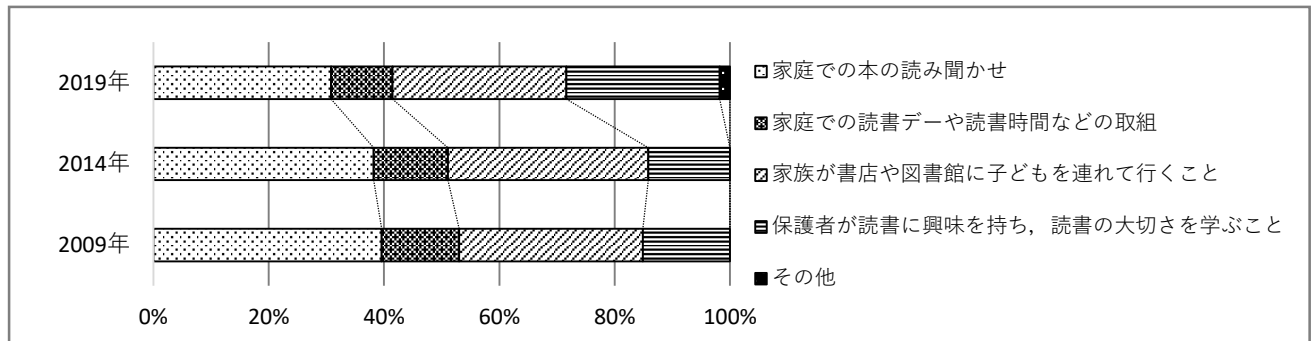
◎「アルカス土浦の図書館に行ったことがあるか」 (子ども対象)



40%の子どもに来館経験がなく，理由として，新しい図書館ができたことを知らない，どこにあるかわからない，一人では行けないの回答が多くあった。

(6) 「子どもが読書に親しむための取組（家庭における取組）」（大人対象）

子どもが読書に親しむための家庭における取組として、どのような取組が必要と考えるかについて、過去の回答と比較します。



「**保護者**が読書に興味を持ち、読書の大切さを学ぶこと」を大切と考える割合が増加した。

3 土浦市の課題

第2次計画の具体的取組内容とアンケート調査のそれぞれから見える傾向をまとめ、次のとおり、課題を整理しました。

第2次計画の具体的取組内容から見える傾向

	傾向
1	絵本の貸出機会，読み聞かせやおはなし会実施などの継続した取組は重要である
2	子どもたちが本に興味を持つ読書環境整備（展示の工夫・新刊購入・除籍等）は重要である
3	子どもたちの読書推進に役立つ情報提供や，保護者への普及・啓発活動が必要である
4	学校（小学校・中学校・義務教育学校）における読書推進に向けた取組は重要である

アンケート調査から見える傾向

	傾向
1	中学生の年代において読書への興味が低下する
2	学校図書館の子どもの読書に果たす役割が高いこととともに，公共図書館の利用拡大に向けた取組が必要である
3	読み聞かせ経験のある子どもや，親に読書習慣がある子どもは，読書に対する興味が高くなる
4	子どもの読書に，保護者の関心度が影響するとの認識が高い



課 題

- 1 中・高生への読書推進の取組
- 2 身近な読書環境の充実（幼・保・学校・公共施設）
- 3 子どもたちが読書に親しむための工夫や情報提供の促進
- 4 子どもの読書活動に対する保護者の意識の向上

Ⅲ 計画の基本的方向

1 基本理念

第2次土浦市子ども読書活動推進計画では、「子どもたちの豊かな心と生きる力を育む」を基本理念と定め、3つの基本方針を柱として施策に取り組んできました。

基本理念については、第8次土浦市総合計画における教育文化行政のなかで、子どもたちに向けて「生きる力」や「豊かな人間性」を育むことを目指していることから、第3次土浦市子ども読書活動推進計画においても、同様の考え方のもとこれまでの基本理念を継続いたします。

基本理念 子どもたちの豊かな心と生きる力を育む

2 基本方針

第3次計画においては、これまでの第2次計画の取組を継続するとともに、新たな課題の解決に取り組み、さらに発展させていくため、次の3点を基本方針といたします。

基本方針1 子どもが継続して読書に親しむ機会の提供・充実

これまでの取組（読み聞かせ、展示の工夫、読書タイム等）を継続しつつ、中高校生になっても読書に親しむことができるような取組を加え、さらなる充実を目指します

基本方針2 子どもの読書活動のための環境の整備・充実

子どもたちにとって身近な存在である、保育所・幼稚園・学校等を含む読書環境の整備を継続するとともに、さらなる充実を目指します

基本方針3 子どもの読書活動の普及・啓発

保護者に向けて、子どもの読書に関する情報の積極的な提供や子どもの読書活動の重要性を伝える機会を増やし、普及・啓発を図ります

3 目標値

子どもの読書活動を計画的に推進するため、子どもたちに身近な学校図書館と図書館の目標値を次のとおり設定し、目標の実現に向けて施策に取り組みます。

読書環境	指標	区分	実績	令和7年度 (目標値)
学校図書館	1人当たりの 貸出冊数(年間)	小学校	H28～R1の平均値 45.0冊	50冊 (年間貸出点数総計 325,000冊見込み)
		中学校	H28～R1の平均値 15.5冊	16冊 (年間貸出点数総計 56,000冊見込み)
図書館	児童書 貸出冊数(年間)◆	図書館	H30, R1の平均値 238,438冊	280,000冊
	児童書 蔵書冊数◆		R1の実績値 98,109冊	116,000冊
	子ども(0～18才) 延べ貸出者数 (年間)◆		H30, R1の平均値 34,533人	37,000人

- ◆児童書貸出冊数(年間)…図書館の蔵書のうち、児童書(絵本含む)と紙芝居の年間に貸出された全冊数
- ◆児童書蔵書冊数…図書館の蔵書のうち、児童書(絵本含む)と紙芝居の蔵書冊数
- ◆子ども(0～18歳)延べ貸出者数(年間)…図書館利用者のうち、0～18歳の利用者の利用回数

IV 第3次計画における取組

1 計画の体系

基本理念：子どもたちの豊かな心と生きる力を育む

基本方針	施策	No.	取組
子どもが継続して読書に親しむ機会の提供・充実	1 読書活動に役立つ情報発信	1	発達段階に応じた本の紹介の充実
		2	図書だより、図書通信等の発行
		3	ホームページの充実
	2 本に親しむ機会の提供	4	図書の貸出・利用
		5	体験学習の充実
		6	子ども向け講座の充実
		7	読み聞かせ・おはなし会の充実
		8	学校支援事業の充実
		9	団体登録の促進・活動の支援
		10	中・高生ボランティアの養成・活用
	3 読書習慣の推進	11	家庭における読書の推進
		12	読書指導の充実
		13	読書記録の推進
		14	読書時間確保の推進
		15	読書感想文コンクール等への参加推進
		16	中・高生に向けた読書活動の推進
子どもの読書活動のための環境の整備・充実	4 本に親しむ環境整備	17	図書館・公民館等の環境整備
		18	学校図書館の環境整備
		19	全域的な読書環境の整備
	5 施設における図書の充実	20	図書館・公民館等の児童図書の充実
		21	学校図書館・学級文庫の資料充実
		22	あらゆる子どもが楽しめる図書の充実
		23	中・高生に向けた図書の充実
		24	児童図書のリサイクル利用の推進
子どもの読書活動の普及・啓発	6 学校・地域・行政等の連携	25	学校と家庭・地域の連携による読書活動の推進
		26	図書館の相互連携
		27	図書館と民間団体等との連携
		28	図書館と市内幼稚園・保育所（園）等との連携
		29	図書館と市内小・中学校との連携
		30	図書館と市内高校との連携
	7 研修会・講座等（大人対象）の実施	31	ボランティアの育成と活動の推進
		32	読書関連講座等の実施
		33	学校司書の研修の充実
		34	図書館司書の研修の充実
		35	県立図書館との連携（研修会・講座）
	8 広報・啓発	36	子育てにおける読書活動の啓発
		37	保護者の学習機会を活用した啓発
		38	保護者との相談機会を活用した啓発
		39	様々なメディア等を活用した情報提供
		40	「こどもの読書週間」「子ども読書の日」等における広報・啓発
		41	図書館利用促進イベントの実施

2 施策と取組

基本方針1 子どもが継続して読書に親しむ機会の提供・充実

施策1 読書活動に役立つ情報発信

No.	取 組	内 容	担 当 課
1	発達段階に応じた本の紹介の充実	各施設においては、季節や年齢に応じた絵本の紹介・展示等、子どもの年齢や発達に応じた本の紹介に努めます。また、図書館においては、小・中学生を対象とした読書ガイドブック「たからもの」の作成・配布等について、有効活用できる工夫等、改善に努めます。	学務課（幼） 指導課（小・中・義） 図書館
2	図書だより，図書通信等の発行	図書館，学校においては，子どもにわかりやすく本や図書館の情報を提供するために，イベント等の様々な情報を掲載した図書だより等の発行に努めます。	指導課（小・中・義） 図書館
3	ホームページの充実	読書におすすめの本のリストや展示情報を掲載・更新するとともに，図書館のイベント等に関する情報発信に努めます。	図書館

施策2 本に親しむ機会の提供

No.	取 組	内 容	担 当 課
4	図書の貸出・利用	各施設においては，読書を日常的に行えるよう，図書の充実と貸出・閲覧等の利用を推進します。また，幼稚園・保育所（園）等においては，読書を介した保護者との情報交換に努め，図書の利用を推進します。	保育課（保・児・児ク） 学務課（幼） 生涯学習課（公） 指導課（小・中・義） 図書館
5	体験学習の充実	司書の体験や施設見学等を通して，図書館を身近に感じることで，本への興味を深め，読書意欲を高めます。	図書館
6	子ども向け講座の充実	土浦市に関する講座や子どもの学習に役立つ講座等，読書につながる内容の講座を実施します。	図書館

幼…幼稚園 保…保育所 小…小学校 中…中学校 義…義務教育学校 児…児童館
 公…公民館 児ク…児童クラブ 子交サ…子育て交流サロン

No.	取 組	内 容	担 当 課
7	読み聞かせ・おはなし会の充実	各施設においては、子どもたちが、想像を豊かにできるようなテーマを用いて、職員・ボランティアによる読み聞かせやおはなし会の充実を図り、子どもたちに本の楽しさを伝えます。	保育課(保・児・子交サ・児ク) 学務課(幼) 指導課(小・義) 図書館
8	学校支援事業の充実	学校が求める支援内容の把握に努め、司書によるブックトークや、調べ学習等の支援となる学校への団体貸出等を行い、子どもの読書活動を幅広く推進します。	図書館
9	団体登録の促進・活動の支援	子どもの読み聞かせ等に関わる方々に団体登録を推進し、大型絵本等各種資料の貸出や情報提供に努めることで、読み聞かせの充実を図るとともに、子どもたちが多様な本に親しむ機会を増やします。	図書館
10	中・高生ボランティアの養成・活用	図書館においては、高校生に向けた、図書館の運営やイベント等に関するボランティアの養成・活動を推進します。また、学校においては、中学生に、幼児・小学生等との交流の場における、本を介した取組に努めます。	指導課(中・義) 図書館

施策3 読書習慣の推進			
No.	取 組	内 容	担 当 課
11	家庭における読書の推進	親子読書の推奨やブックスタート事業等を通して、読書の意義を広めるとともに、家族と一緒に読書を楽しむことや、家庭における読み聞かせ等を推進します。	こども包括支援課 図書館
12	読書指導の充実	司書教諭が中心となり、教職員の読書活動への関心を高め、各教科を通じた学校図書館の活用を推進し、子どもたちの読書指導に努めます。	指導課(小・中・義)
13	読書記録の推進	学校においては、小・中学生に読書履歴を記録できるものを配布し、また、図書館においては、本の通帳を発行することにより、読書履歴の記録化を推進し、読書習慣づくりに努めます。	指導課(小・中・義) 図書館

No.	取 組	内 容	担 当 課
14	読書時間確保の推進	朝の読書等，読書時間を確保することにより，読書習慣づくりを推進します。	指導課（小・中・義）
15	読書感想文コンクール等への参加推進	学校においては，児童・生徒の読書感想文コンクール等への参加を通して，子どもたちの読書習慣づくりを推進します。	指導課（小・中・義） 図書館
16	中・高生に向けた読書活動の推進	図書館・学校においては，中・高生の興味をひく展示の工夫や電子書籍の利用案内のほか，読書関連イベントを実施することで，読書活動の推進を図ります。	指導課（中・義） 図書館

基本方針2 子どもの読書活動のための環境の整備・充実

施策4 本に親しむ環境整備

No.	取 組	内 容	担 当 課
17	図書館・公民館等の環境整備	図書館，各施設においては，レイアウトや表示の仕方などを工夫しながら，子どもたちが利用したくなる環境づくりに努めます。	保育課（保・児） 学務課（幼） 生涯学習課（公） 図書館
18	学校図書館の環境整備	司書教諭，学校司書が協力し，レイアウトや表示などの工夫により，子どもたちが読書を楽しめる環境づくりに努めます。	指導課（小・中・義）
19	全域的な読書環境の整備	図書館利用が困難な地区における，各施設（学校，公民館，児童館等）への支援策など，市内全域における子どもの読書環境整備を検討します。	図書館

施策5 施設における図書の充実

No.	取 組	内 容	担 当 課
20	図書館・公民館等の児童図書の充実	図書館，各施設においては，児童図書の計画的な購入に努め，子どもの年齢やニーズに合わせた図書を選定し，充実を図ります。	保育課（保・児・児ク） 学務課（幼） 生涯学習課（公） 図書館

No.	取 組	内 容	担 当 課
21	学校図書館・学級文庫の資料充実	学校図書館ガイドライン ^{※9} に基づく資料購入や、図書館の団体貸出の有効活用により、学校図書館や学級文庫の資料充実を図ります。	学務課 指導課（小・中・義）
22	あらゆる子どもが楽しめる図書の充実	日本語を母国語としない子どもや、読書が困難な子ども等、あらゆる子どもが読書を楽しめるように、外国語の図書や、点字図書・ユニバーサル絵本・マルチメディア DAISY 図書 ^{※10} 等の充実を図ります。また、子どもの年齢や発達に応じた図書の充実を図ります。	図書館
23	中・高生に向けた図書の充実	中・高生の読書活動推進のため、中・高生が関心・興味を示す図書を収集し、中・高生向けコーナー「Teen の本棚」の充実を図ります。	図書館
24	児童図書のリサイクル利用の推進	図書館でリサイクル可能な児童書・紙芝居等について、学校や児童館、幼稚園、保育所（園）等の各施設での利活用を推進します。	図書館

基本方針3 子どもの読書活動の普及・啓発

施策6 学校・地域・行政等の連携

No.	取 組	内 容	担 当 課
25	学校と家庭・地域の連携による読書活動の推進	地域や保護者等を通じて、読書活動の推進に努め、子どもたちの読書意欲の向上を図ります。また、子どもたちの図書館利用のきっかけづくりとなるよう、図書館の施設見学活用に努めます。	指導課（小・中・義）
26	図書館の相互連携	図書館に所蔵のない資料を提供するために、他の図書館と連携し、相互貸借を行います。	図書館

※9 学校図書館ガイドライン … 平成 28 年文部科学省策定の、学校図書館の運営上の重要事項についての望ましい在り方や必要な図書館資料、学校司書等の学校図書館に携わる教職員の役割等を示すガイドライン

※10 マルチメディア DAISY 図書 … パソコンやタブレット端末を用いて、目と耳から、絵とおはなしを楽しむことができる電子図書

No.	取 組	内 容	担 当 課
27	図書館と民間団体等との連携	図書館が、地域の読書活動を推進する民間団体やボランティアグループ、NPOに対し、スキルアップのための情報提供や、読書推進活動への協力を呼びかけるなど、連携に努めます。	図書館
28	図書館と市内幼稚園・保育所（園）等との連携	図書館は、市内幼稚園・保育所（園）等へ、各施設の読書活動状況等について調査し、就学前の子どもの読書環境の把握に努めます。また、各施設に図書館の利用案内やイベントを積極的に案内し、子どもの読書活動推進に努めます。	図書館 保育課（保）
29	図書館と市内小・中学校との連携	児童・生徒の読書活動の推進や、学校支援事業による取組について、司書教諭や学校司書との情報共有に努め、連携を図ります。	図書館
30	図書館と市内高校との連携	高校との連携により、高校生のおすすめ本の紹介や活動等を図書館で紹介し、読書活動の推進を図ります。また、図書館での高校生関連のイベントを開催し、参加を推進します。	図書館

施策7 研修会・講座等(大人対象)の実施

No.	取 組	内 容	担 当 課
31	ボランティアの育成と活動の推進	ボランティア育成のための講座を実施するとともに、子どもの読書活動の推進につながるボランティア活動を推進します。	図書館
32	読書関連講座等の実施	図書館、各施設においては、子どもの読書活動の大切さを伝える講座や講演会等を開催し、大人に子どもの読書に対する理解と関心を深めます。	生涯学習課（公） 図書館
33	学校司書の研修の充実	読書指導等に関する知識・技術の習得のために役立つ研修を実施し、自己啓発に努めることができる機会をつくります。	指導課
34	図書館司書の研修の充実	児童図書や児童文学、適切な図書の選定や知識・技術の習得に向けて、各種研修会へ積極的に参加します。	図書館

No.	取 組	内 容	担 当 課
35	県立図書館との連携 (研修会・講座)	各種情報交換や事業の共催等，県立図書館との連携を図ります。	図書館

施策8 広報・啓発			
No.	取 組	内 容	担 当 課
36	子育てにおける読書活動の啓発	図書館の情報を，子育て世代への配布物や子育て支援サイト等に掲載します。また，図書館における「子育て支援コーナー」の充実を図ることで，保護者に読書活動の啓発を図ります。	こども政策課 こども包括支援課 図書館
37	保護者の学習機会を活用した啓発	保護者の学習機会（家庭教育学級等）を活用し，司書により，読み聞かせや読書の楽しさを伝えるなどして，家庭における読書を推進します。また，図書館の機能やサービスについてのご案内を通じて，図書館の利用促進に努めます。	こども包括支援課 生涯学習課 図書館
38	保護者との相談機会を活用した啓発	子育てコンシェルジュによる保護者との相談機会に，図書館の利用方法やサービスを案内します。	こども包括支援課
39	様々なメディア等を活用した情報提供	図書館におけるイベントや取組について，様々なメディア等を活用した情報の提供に努めます。	図書館
40	「こどもの読書週間」「子ども読書の日」等における広報・啓発	子どもの読書を推進する期間にあわせて，子どもが読書に興味を持つイベントを実施するとともに，読書活動への広報・啓発に努めます。	図書館
41	図書館利用促進イベントの実施	図書館を身近に感じてもらい，利用するきっかけづくりとなる，あらゆる世代が楽しめるイベントを実施し，利用促進を図ります。	図書館

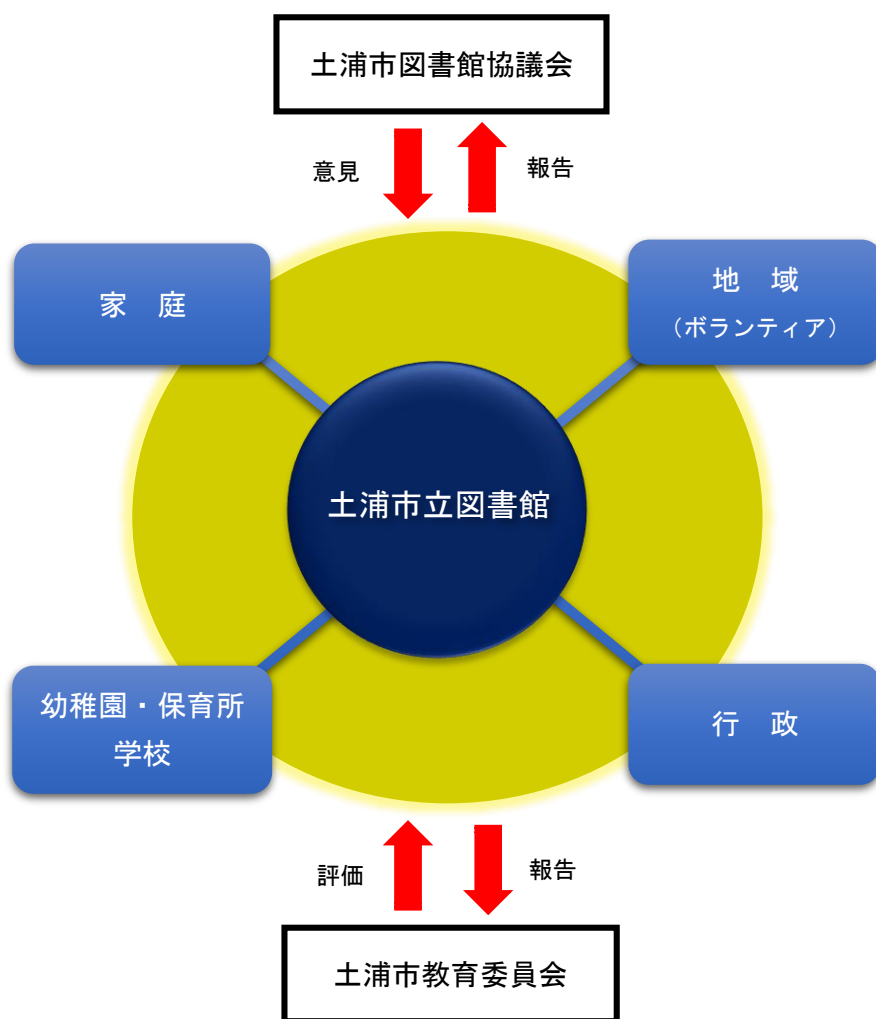
※担当課は令和3年4月の行政機構による

V 計画の推進

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたり、図書館が中核となり、各家庭、地域の各施設、保育所・幼稚園・学校等、民間団体等、国・県、他の教育機関との連携・協力を図ります。

また、図書館長の諮問機関である「土浦市図書館協議会」や所管部局である「土浦市教育委員会」の意見等を参考にしながら、庁内の関係各課と連携を図り、子どもの読書活動を推進していきます。



2 計画の進行管理

計画（PLAN）を実効性のあるものとするために、計画の内容にそって実行し（DO）、その進捗状況や成果を点検評価し（CHECK）、それをさらに次の取組に反映（ACTION）していきます。この流れを、年度単位で行い、関係各課が、取組の進捗状況等について図書館に報告します。

